



県政ハイライト

県政ハイライト

県政ハイライト



9.25-27 観光くまもとを味わってくださいと県外からの招待客 320人を阿蘇・天草ほか県内主要観光地へ案内した。



10.1 みんながしあわせに…赤い羽根共同募金運動が全国いっせいにじまった、よい子の胸に赤い羽根をつける小山県出納長。



10.7 阿蘇町に初めて誘致される工場・日本オイルシールと同町の間で正式調印が県庁で行われた。



10.8 新県計画に民間人の意見を反映させる「新県計画策定会議」の初会合がホテルキャッスルで開かれた。



10.9 第2回全国い業大会が八代市で開かれ、い草・い製品の将来について活発な意見交換などが行なわれた。



10.14-15 恒例の県産共進会が本渡市で開催。牛・豚の展示、ミス畜産コンテストなどありにぎわった。



10.16 中小企業団体全国大会が熊本市で三日間にわたって開催された。



10.18 600人の消防関係者が集って第7回消防大会開催。優良消防団の表彰や意見の発表などが行なわれた。

県政ハイライト★KENSEI HAI RAITO★けんせいはいらいと★県政ハイライト★

垣根の前で、
おとうさんを待つ

原 利恵子 (12歳)

わたしのお父さんは、三才の時交通事故で死んでしまったので、あまりよく覚えていませんが、お母さんやお兄ちゃんから、お父さんにとってもかわいがってもらった事などよく話してもらいます。おそう式がすんでも、わたしは夕方になって、「きょうは、お父さん帰って来るわね。」と、垣根の前に立っていて、お母さんが困ったそうです。

お友だちのお父さんが、とてもやさしそうにみえます。わたしもお父さんが生きていたら、休日にはどこかへ連れて行ってもらえ、どんなに楽しいかしら、と想像します。それに、宿題を教えてもらえるし、とお友だちがうらやましくなる事もあります。けれども、両親のいない人に比べるとまだまだ幸せだと思います。けれども、おにいちやんは、今年高校を卒業して大学にはいりました。けれど、お父さんがいないので、昼働しながら大学へ通うそうです。お母さんは残念そうに、「お父さんがいたら、昼の大学へ行かせられたのに」と、言っています。それにわたしも中学入学で、お金がかかってとても大変です。

わたしも一生けん命に勉強して、高等学校を卒業し職について、一日もはやくお母さんを楽にしてあげたい、と思います。お母さんは、会社から帰ると夜おそくまで仕事がいっぱいで大変です。だから私も、中学生になったら、沢山お手伝いをしてあげよう、と思っています。

テレビで、交通事故のニュースを聞くと、心が暗くなってしまいます。どうかみなさんも、交通事故には十分気をつけて下さい。

(原文のまま)

(注) 交通遺児作文集「天国にいるおとうさま」から抜粋